

第17号科学衛星（LUNAR-A）の打上げについて

平成 9年5月14日
文部省宇宙科学研究所

1. 概 要

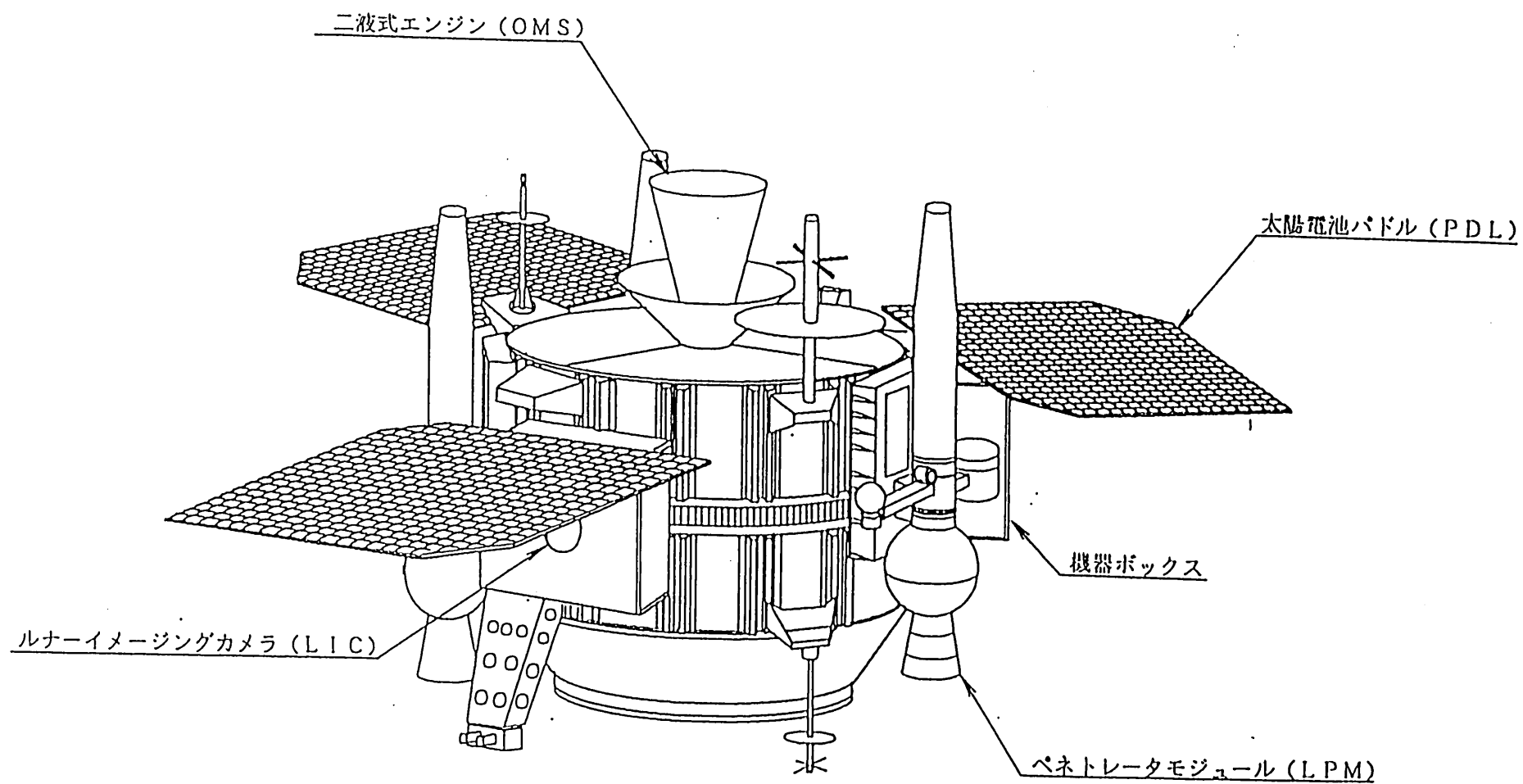
月面に3機のペネトレータを貫入させ、搭載した地震計及び熱流計のネットワークによって月の内部構造を探り、又、月周回軌道から月面の光学撮影を行うことを目的とする第17号科学衛星LUNAR-Aは、平成9年度夏期（8月又は9月）にM-V-2号機による打上げを予定していた。しかし、衛星の一部に見直しを要する部分が発見され、対策に時間を要するため打上げを延期することとしたい。

2. 延期理由

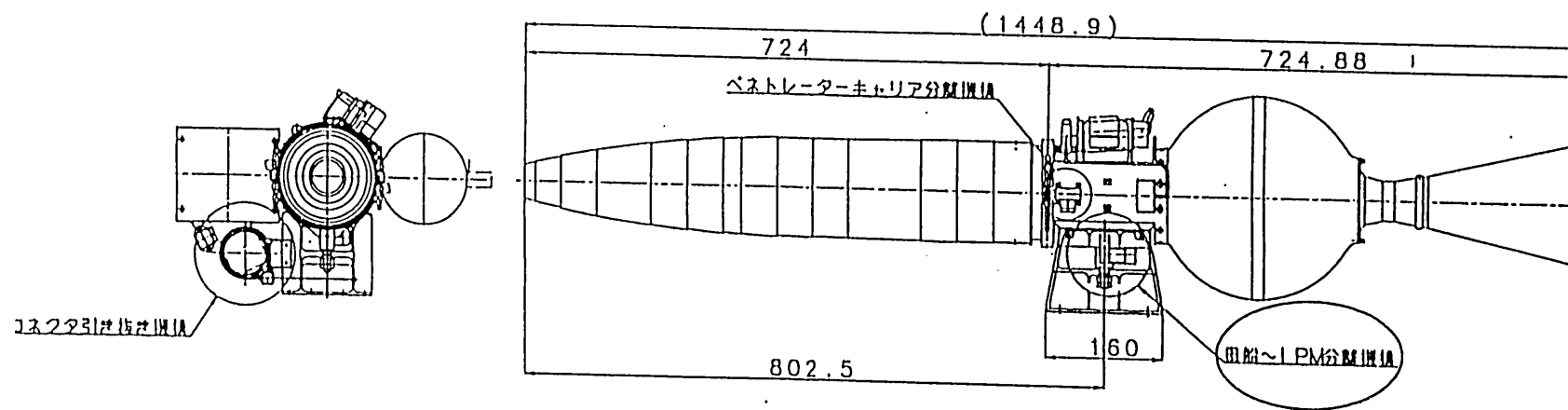
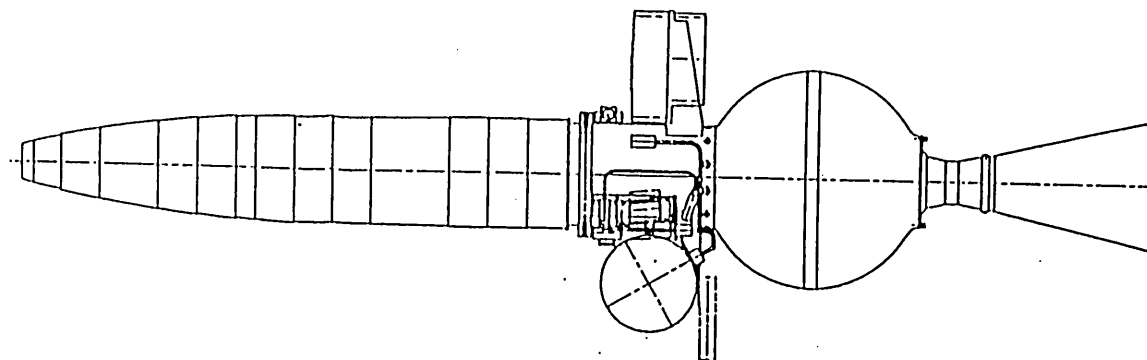
月面に貫入するペネトレータ等で構成されるペネトレータモジュールを母船から分離する機構部の剛性不足により、月面貫入時の貫入姿勢角が許容値を満足することができないこと、又、同部に装着される火工品の能力に余裕がなく分離の信頼性を確保できないことが判明し、同部の見直しが必要と判断されるに至った。

3. 今後の対策

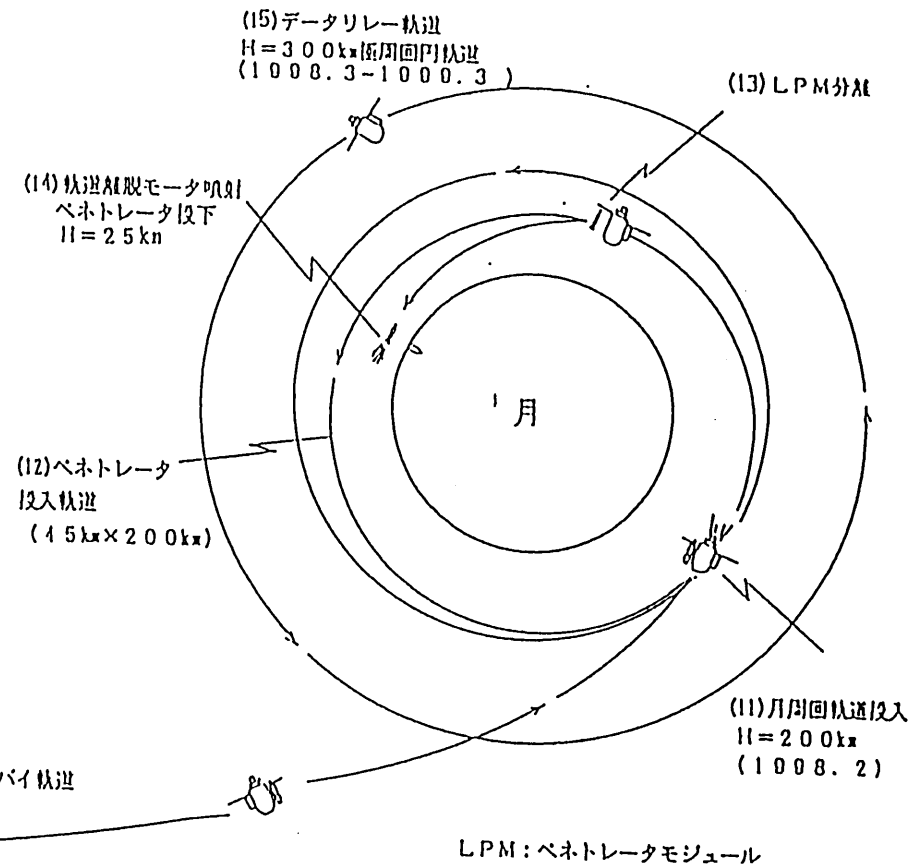
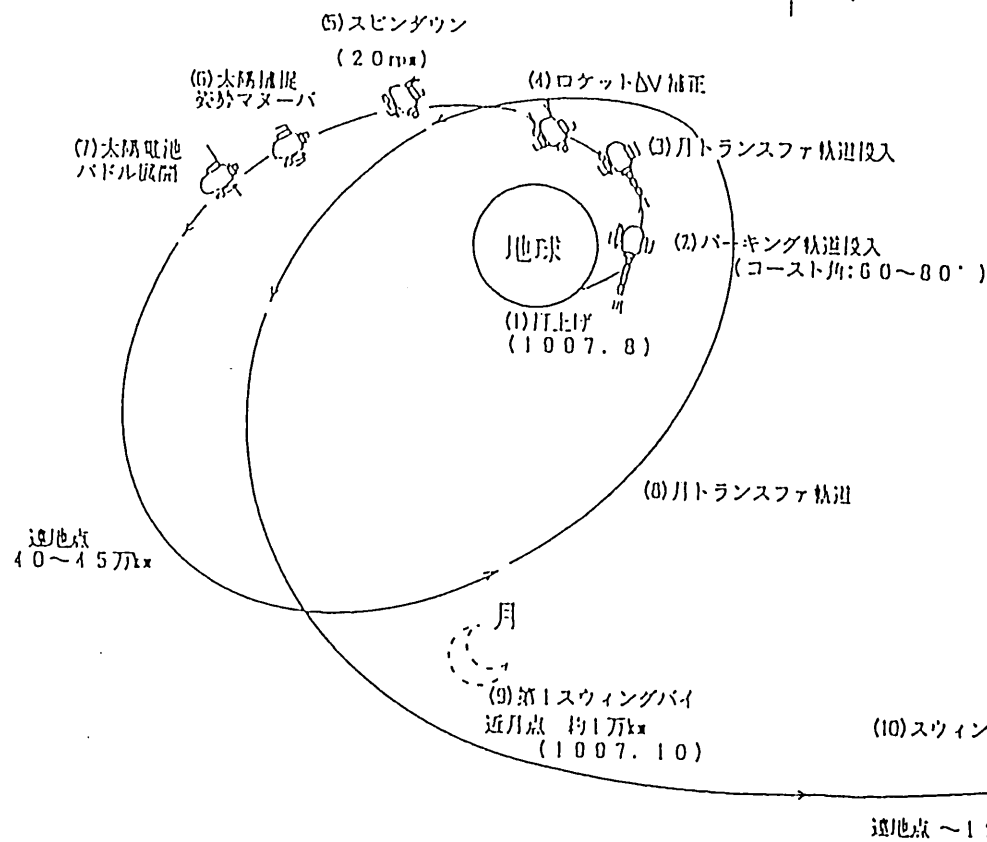
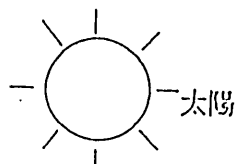
上記分離機構の見直しには現時点で約1年要するため、見直し後に実施する総合試験の時期が、第18号科学衛星PLANET-B（平成10年度夏期打上げ予定）の総合試験の時期と干渉することとなる。PLANET-Bに関しては火星との邂逅のチャンスが2年に1回と限られているため、PLANET-Bの打上げを優先することとし、LUNAR-Aの打上げはその後とすることとしたい。



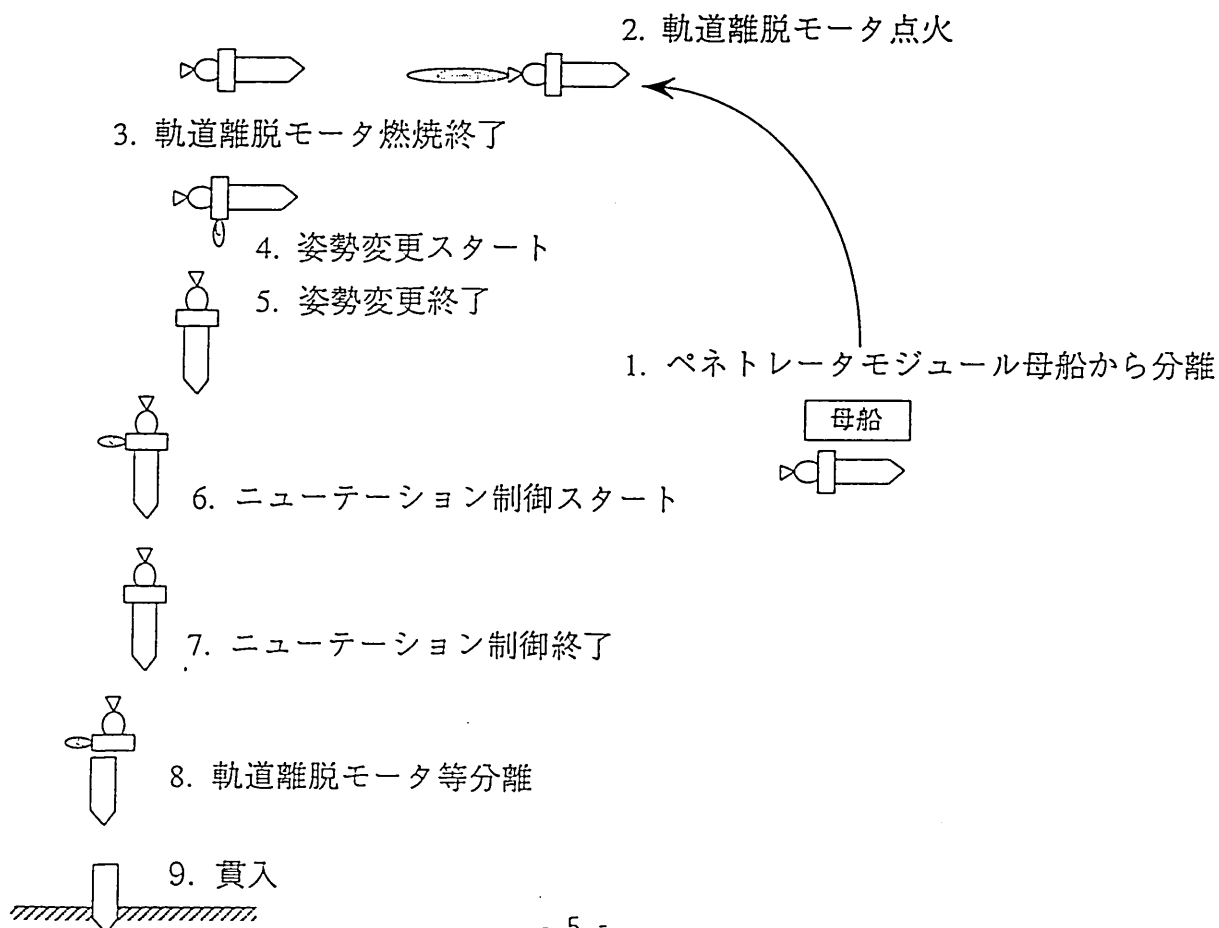
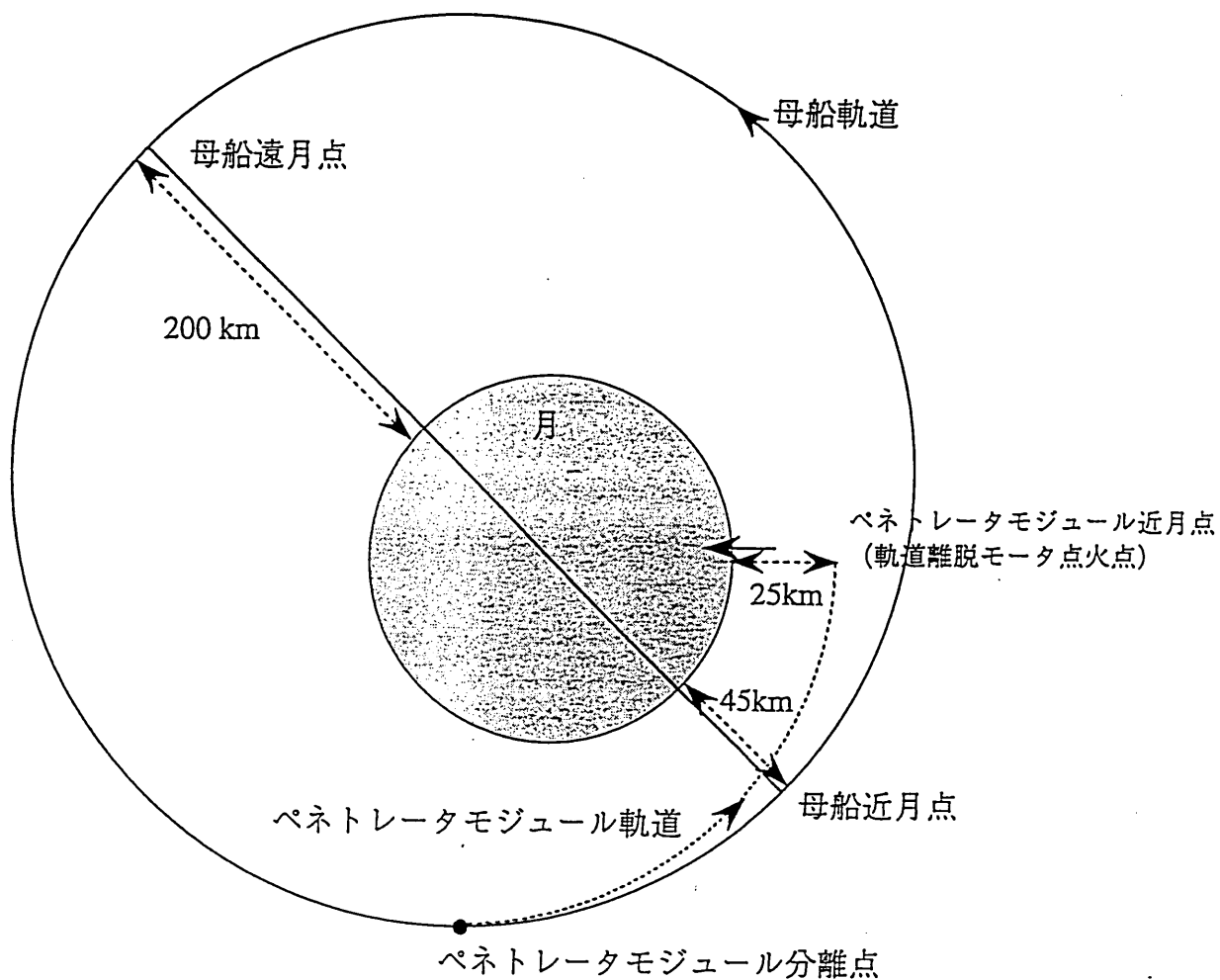
LUNAR-A外觀図

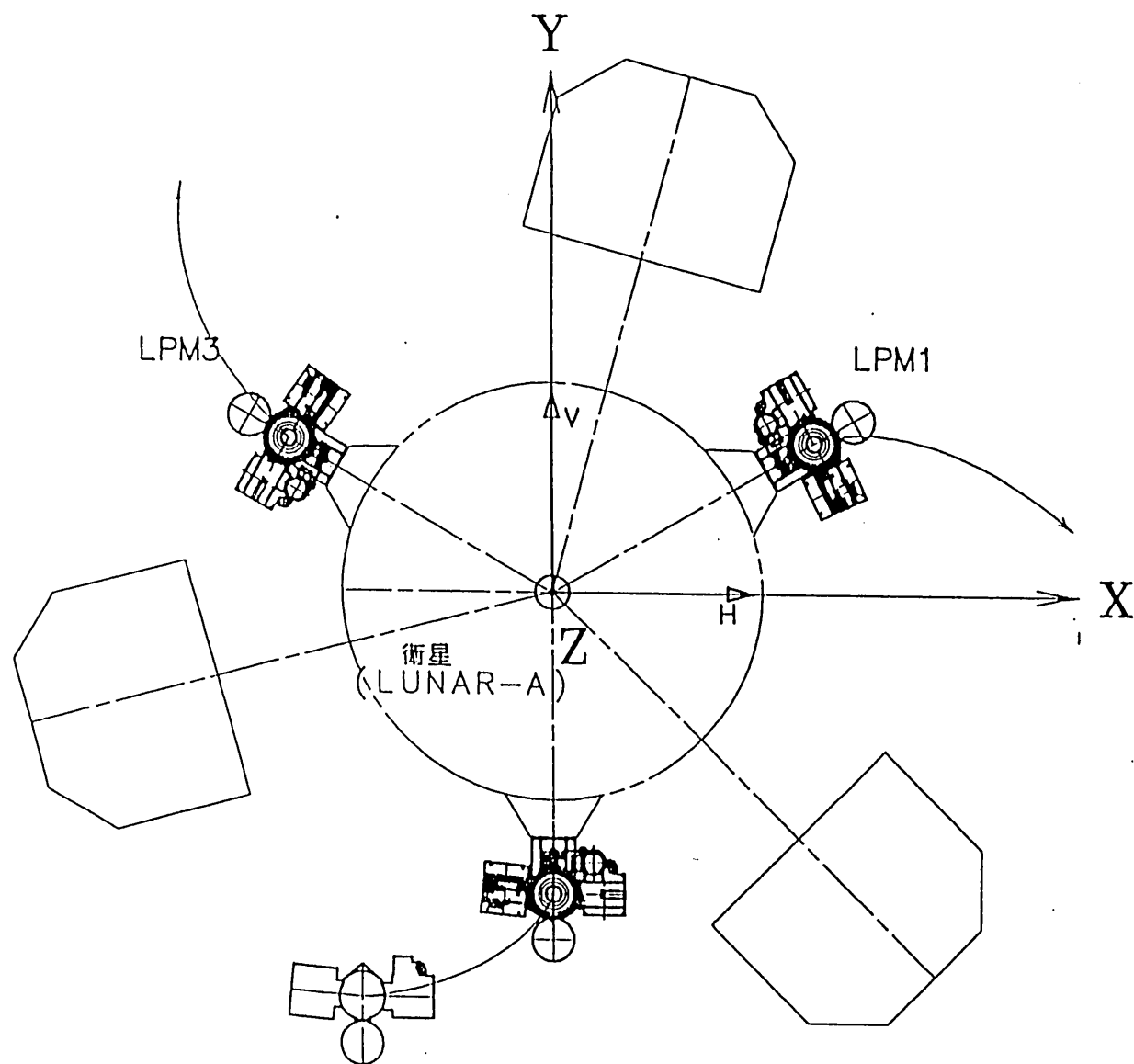


L P.M 外觀図

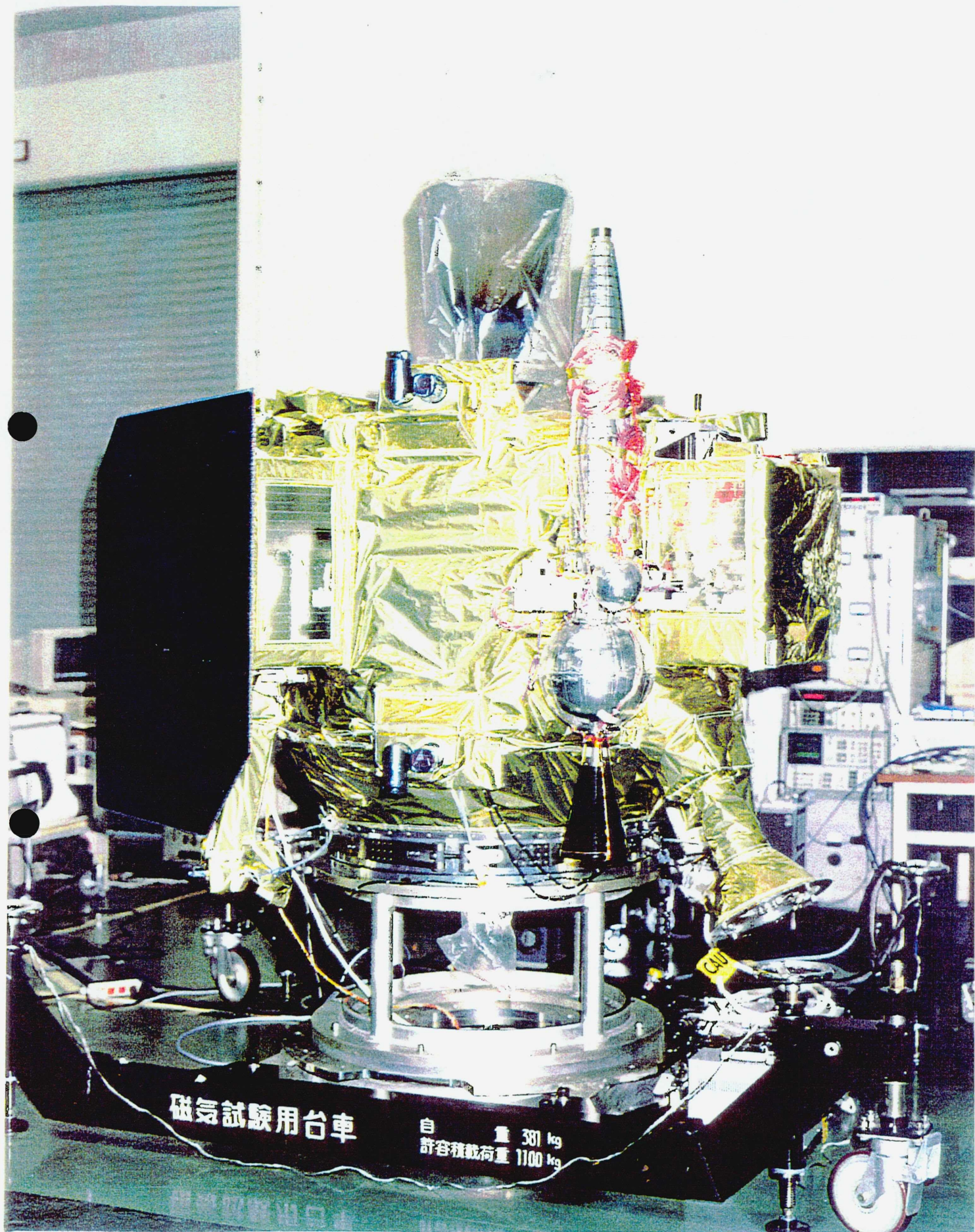


シーケンス





母船/LPM 分離状況イメージ図



磁気試験用台車

自重 381 kg
許容積載荷重 1100 kg